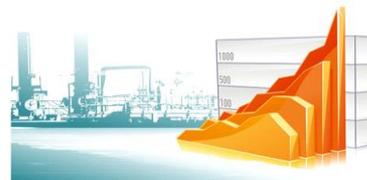


# ぎふ経済レポート



令和2年9月分  
岐阜県商工労働部

※企業等へのヒアリングは 9月24日～28日を中心に実施し、10月9日時点のデータで作成。

# 景気動向

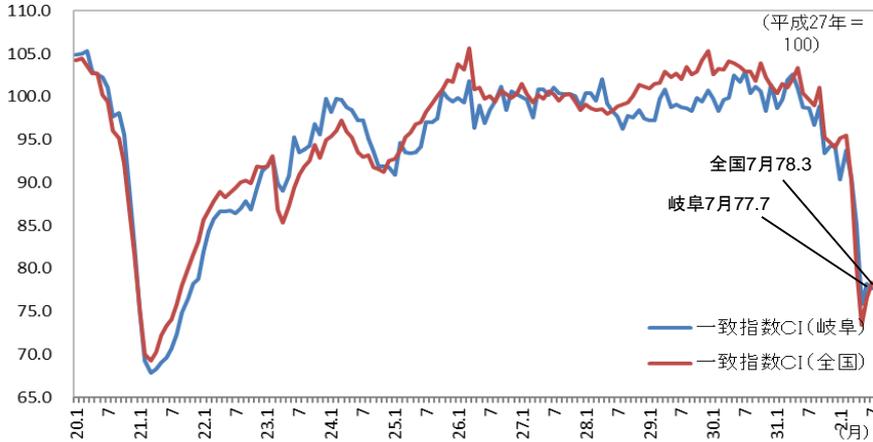
○7月の景気動向指数(一致指数)は、77.7で前月比▲0.3ポイント悪化した。

○8月の県内中小企業の景況感は、▲75で前月比5ポイント改善した。

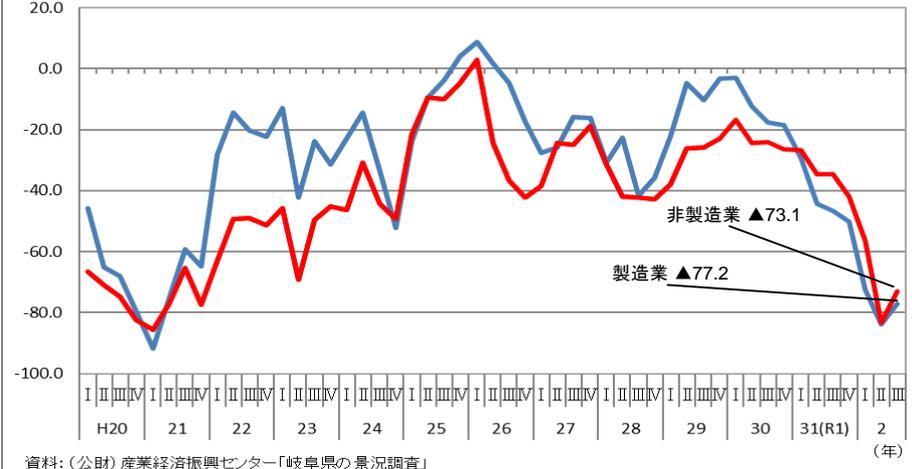
○7-9月の景況DIは、製造業で6.6ポイント、非製造業で10.1ポイント改善した。

○同売上高DIは、製造業で▲7.5ポイント悪化、非製造業で6.3ポイント改善した。

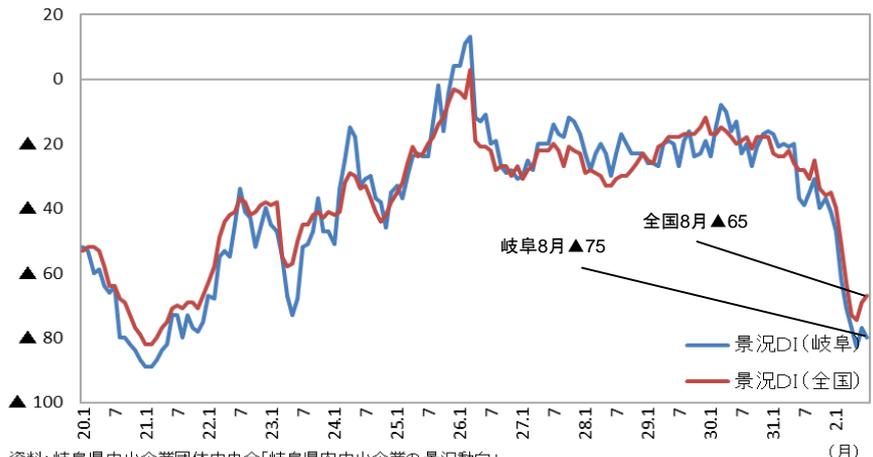
岐阜県及び全国の景気動向指数(一致指数)の推移



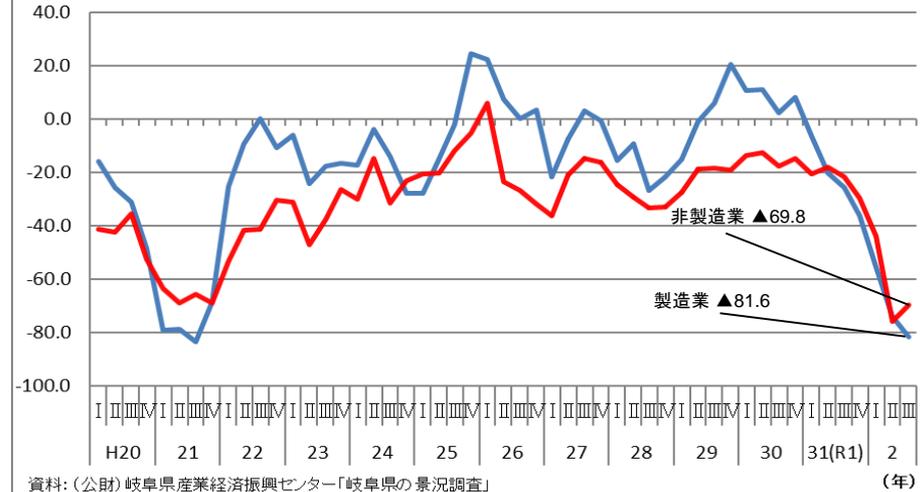
県内企業の景況DI(増加-減少)の推移



岐阜県及び全国の中小企業の前年同月比景況感DI(好転-悪化)の推移



県内企業の売上高DI(増加-減少)の推移

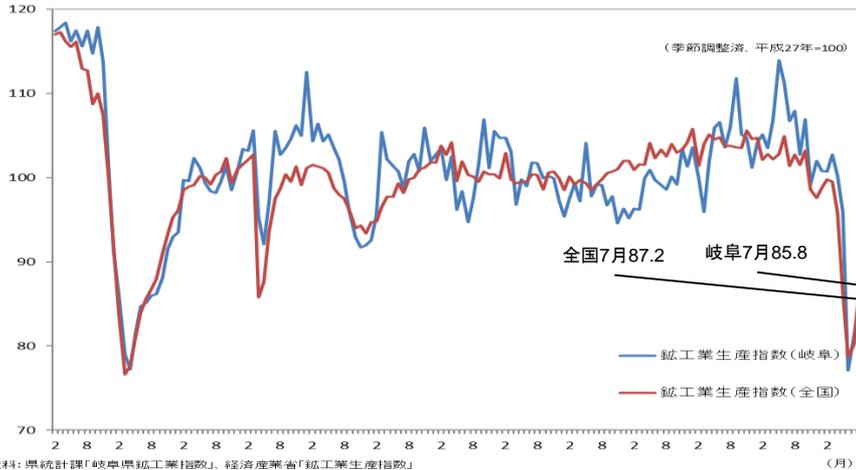


# 製造業

- 7月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、85.8で前月比5.4%と上昇した。
- 前月比では、化学工業を除く主な産業で上昇となった。

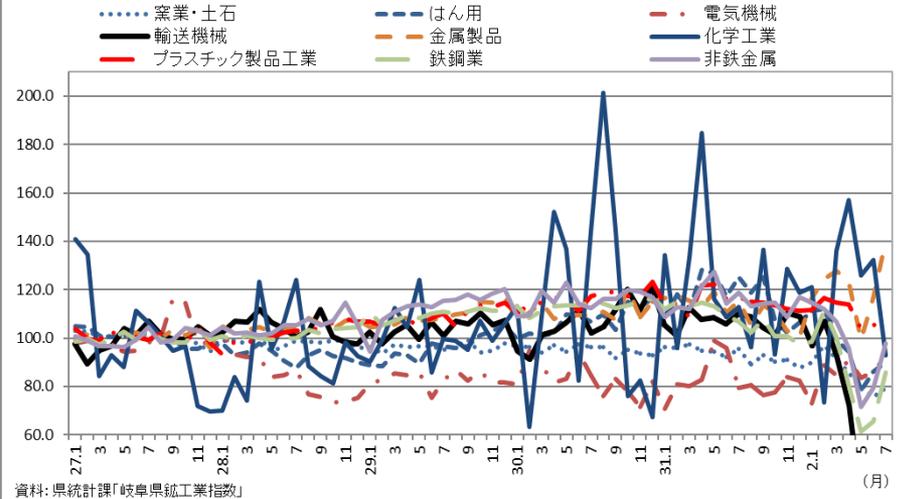
- 7月の主な産業の指数は、化学工業で前月比▲29.9%と減少したものの、輸送機械で同36.3%、鉄鋼業で同30.5%、非鉄金属で同23.3%など多くの産業で上昇した。

鉱工業生産指数の推移



主な産業の鉱工業生産指数

(季節調整済、平成22年=100)

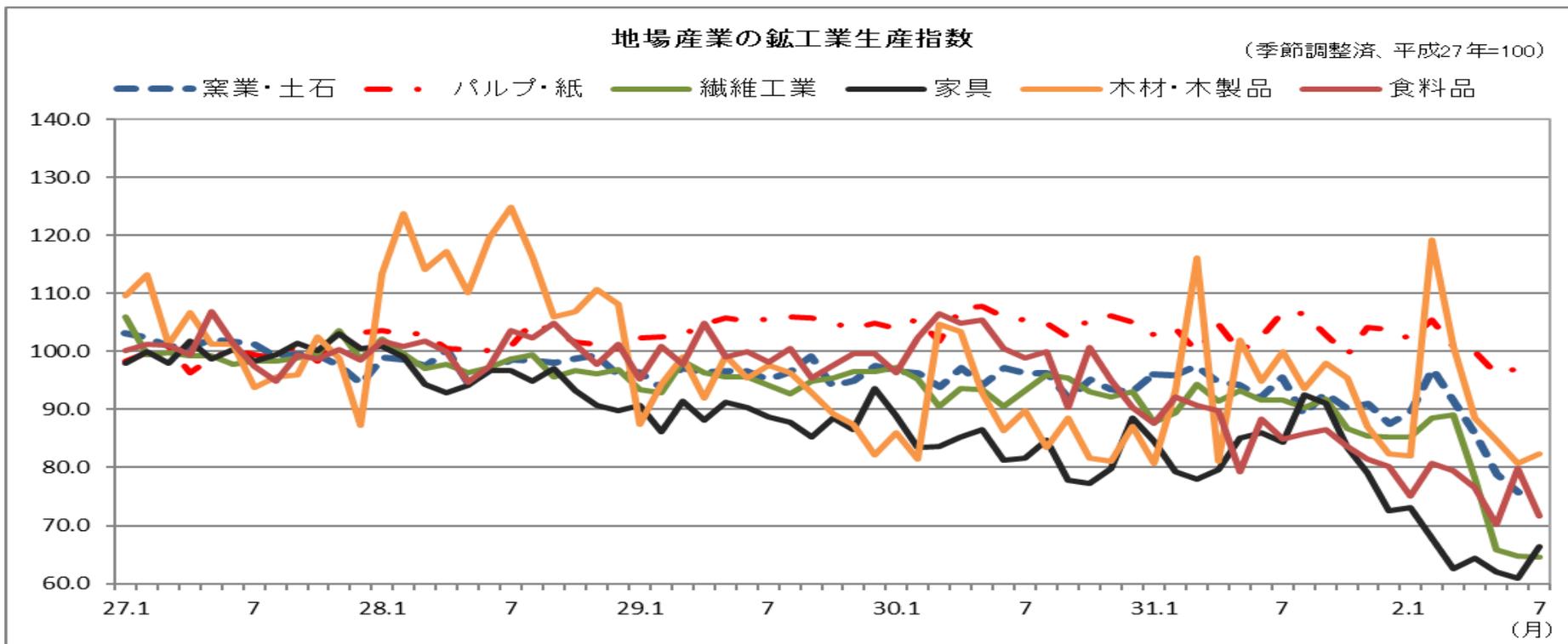


## 現場の動き (※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

- ◆品種によっては低迷が継続しているものもあるが、全体としては大きな落ち込みも無く、比較的安定している。(食品製造)
- ◆9月末をもって休業体制は終了した。(輸送用機械)
- ◆新型コロナウイルスの影響によって工場の稼働率は令和2年7月は7割程度となっていたが、現在は8割程度まで回復している。(輸送用機械)
- ◆仕事は絶対量が減っており、テレワークで進めていることが多い。中国は戻りかけているが、現地調達への傾向にあるようだ。(生産用機械器具)
- ◆9月は新型コロナウイルスの感染拡大の前に立てた計画を超える水準となった。4月から6月の大幅落ち込みから完全に挽回体制へ突入している。(プラスチック製造)
- ◆建設機械関連は中国向けメーカーが好調な為、部品の輸出が伸びている。(鉄鋼)

## 製造業-2

○7月の地場産業(刃物を除く)の鉱工業生産指数は、家具で前月比8.9%、窯業・土石で同4.6%、木材・木製品で同2.0%と上昇したものの、食料品で同▲10.4%、パルプ・紙で同▲0.4%、繊維工業で同▲0.3%と減少した。



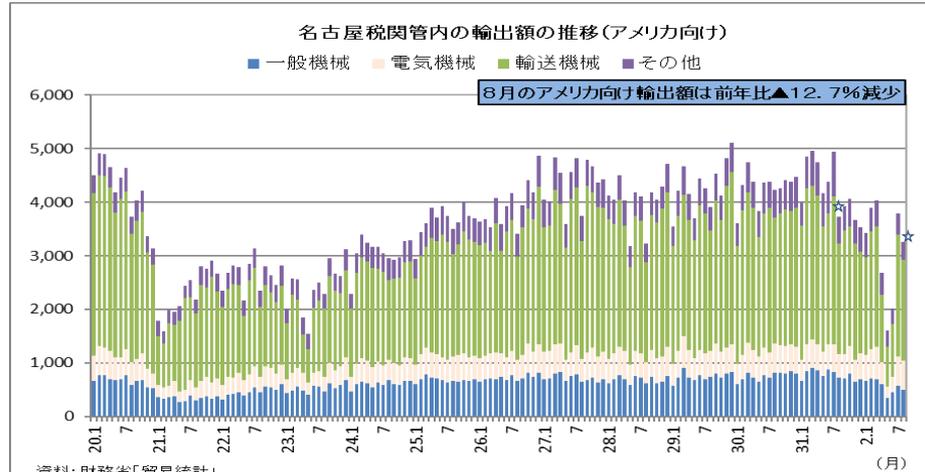
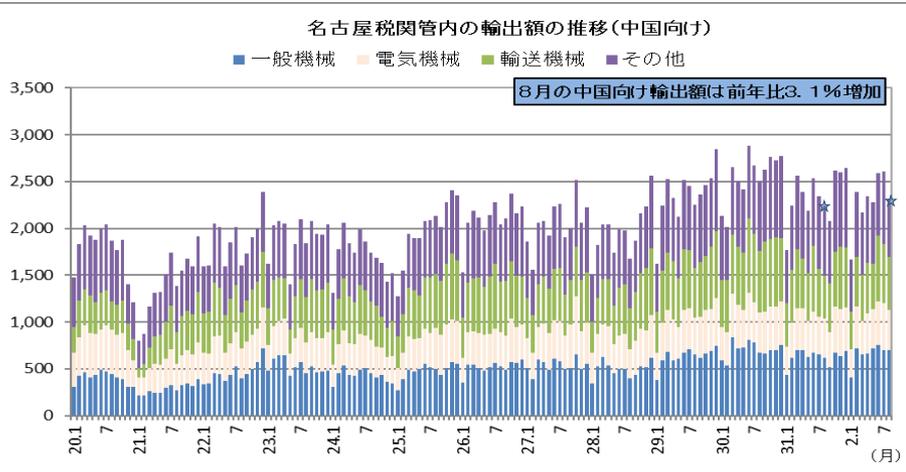
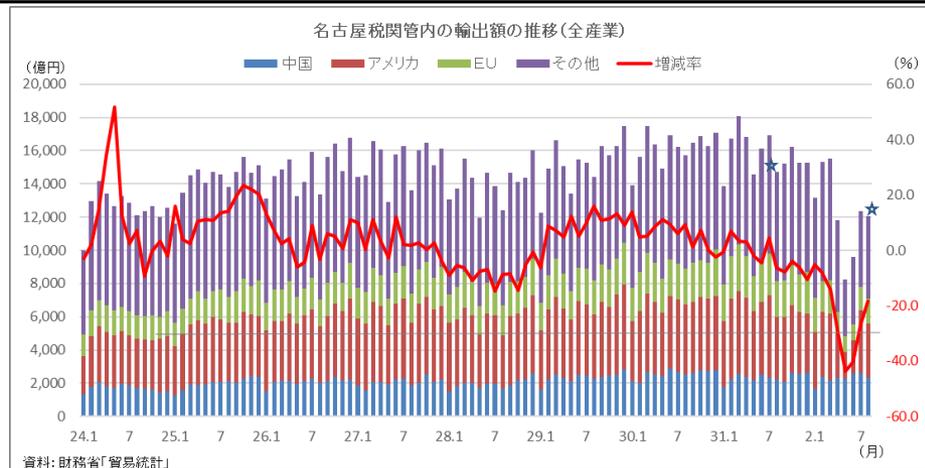
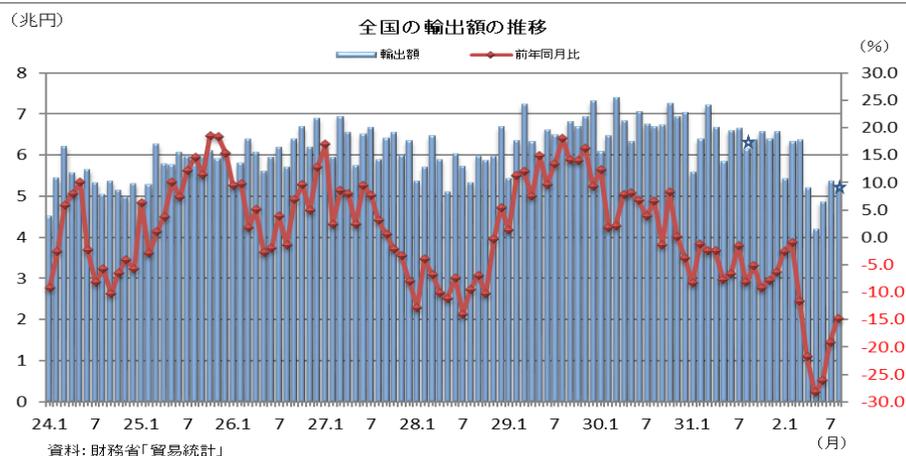
### 現場の動き

(※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

- ◆ 新型コロナウイルスの影響により、8月～9月は、春～夏と比較して、さらに深刻な状態になっている。(繊維)
- ◆ 昨年度同時期と比較し、売上は落ちている。今後の見通しは不明だが、注文は入ってきている。(刃物)
- ◆ 前年同月比では売上が4～5割となった。従業員には休んでもらっており、出勤率を5割程度としている。(紙)
- ◆ 6月～8月は前年同月比で売上は1割程まで減少した。9月はそれよりも悪化傾向にある。(紙)
- ◆ 売上は、8月単月では、前年比140%と持ち直している。4～8月累計では前年比80%ほど。全体的に新型コロナウイルスの感染拡大の影響で売上が減っているが、少し持ち直してきたと思われる。(木工)

# 輸 出(名古屋税関管内)

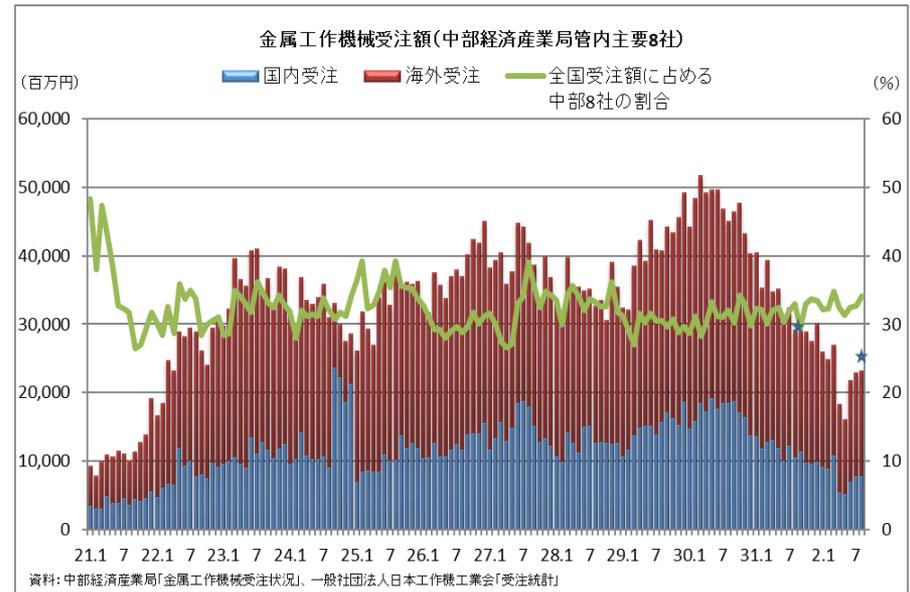
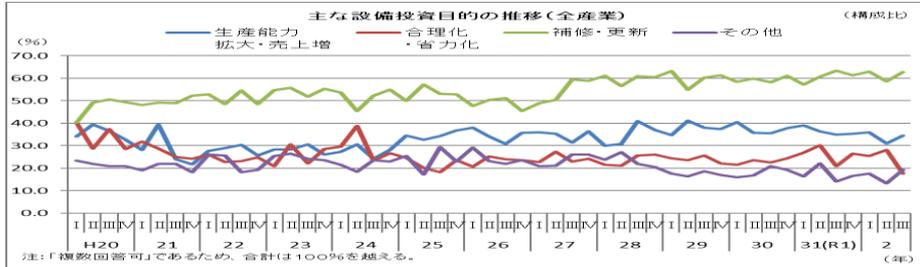
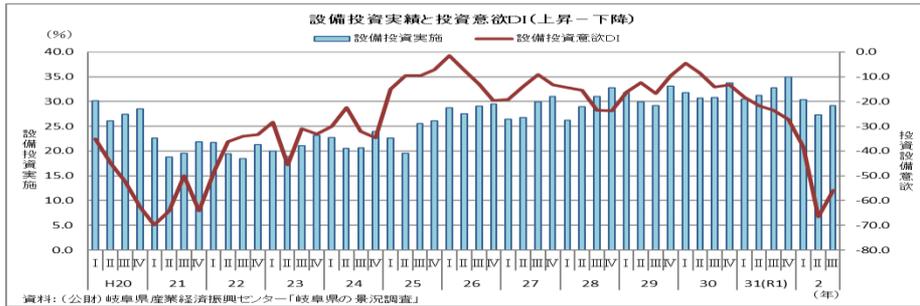
- 8月の輸出額(全国)は、5兆2,331億円と前年同月比▲14.8%と21ヶ月連続で減少となった。
- 8月の輸出額(名古屋税関内)は、1兆2,049億円と前年同月比▲18.2%と減少し、13ヶ月連続で前年同月を下回った。
- 中国向けは、全体で前年同月比3.1%増加した。その内、輸送用機械で前年同月比22.0%、一般機械で同14.0%、電気機械で同1.9%増加した。アメリカ向けは、全体で前年同月比で▲12.7%と減少し、13ヶ月連続で前年を下回った。その内、一般機械で前年同月比▲31.7%、輸送用機械で同▲8.7%と減少し、電気機械では同26.4%増加した。



# 設備投資

○7-9月期の設備投資実施は前期比1.9ポイント、設備投資意欲DIも同10.6ポイント上昇。設備投資実施見通しの目的別では、「生産能力拡大・売上増」で前期比3.4ポイント、「補修・更新」で同4.0ポイント上昇し、「合理化・省力化」で同▲10.6ポイントと減少した。

○8月の金属工作機械受注額は、全体では前年同月比▲20.5%と22ヶ月連続で前年を下回った。内訳は国内受注では同▲26.7%と21ヶ月連続で前年を下回り、海外向けも同▲16.8%と22ヶ月連続で前年を下回った。



## 現場の動き

(※新型コロナウイルス関連はP6にも掲載)

- ◆ 生産施設の建設は予定どおり実施するが、設備計画を一部見直した結果、修繕は見送りとした。(輸送用機械)
- ◆ 8月に納品予定であった設備は、納品が遅れている。(生産用機械器具)
- ◆ 新工場の引渡しが終わりに、機械を搬入して一部を稼働させた。新たに1台機械を入れるが、次の設備投資は未定である。(はん用機械器具)
- ◆ IT投資を行った。国のIT補助を活用した。(陶磁器)
- ◆ 設備投資はしていない。他社から事業譲渡があれば、設備投資も必要と考えている。(繊維)

## 製造業関係における新型コロナウイルスの影響について

- ◆ 現在は、リモート営業だけでなく、訪問営業も行っている。自動車製品製造の受注はほぼ回復したが、航空機部品製造は変わらず2割減となっている。人材の過不足感はなく、従業員は全員出勤している。(輸送用機械)
- ◆ 引き続きコロナ禍中にはあるという認識だが、第2波によって特別に影響を受けた印象はない。(輸送用機械)
- ◆ 9月も首都圏への出張は引き続き制限した。首都圏のみならず名古屋市、豊田市など人が多く集まる場所への出張は停止している。Go Toキャンペーンはあくまで国の施策であり自社のコロナ対策は引き続き慎重に行っている。(輸送用機械)
- ◆ 9月は前年同月比で90%まで回復すると予測していたところ、結果的には95%まで回復。今後も年明けの2月までは95%程度で推移する見込み。海外では中国が堅調で既に100%超。タイもほぼ回復している。(輸送用機械)
- ◆ 新型コロナウイルスの第2波に関しては、あまり影響を受けていない。(輸送用機械)
- ◆ 年末にかけて7~8割程度と予測していたところ、急激に回復して前年同月比で100%となった。ただし、これが一過性のものかどうかは現時点では判断がつかない。停止していた一部の生産設備も再稼働し、フル稼働体制となっている。(金属加工)
- ◆ 現在も訪問営業は控えている。工場の稼働率は約6割となり、前月より低下した。工作機械の受注は増えていない。また産業機械についても同様である。(はん用機械器具)
- ◆ 最近、急激に上向きとなり、前年同時期を超えた。日本各地の災害復興や海外の経済対策によるものと思われる。(鉄鋼)。
- ◆ 新型コロナウイルスの影響でオフィス街のランチやレジャーの減少により、当社の売上も全体的に減少している。(プラスチック製造)
- ◆ 9月の売上は、昨年9月と比較し半分程度。社会全体の流れが変わらないと、回復は難しいと思われる。(繊維)
- ◆ 対前年同月比50%程度であった4、5月に比べれば、8、9月は対前年同月比80%近くまで改善したが、まだまだ悪い。業界全体としてネット販売が好調であるため、伸ばしていきたいと考えている。(陶磁器)
- ◆ 3月末から輸出が完全に止まってしまった。ゼロとなった輸出分を補填できるよう、オンラインショップの改善など、国内の販路を開拓したいと考えている。(陶磁器)
- ◆ 仮に社員の中から感染者が出ても、業務が停滞することのないよう、社員を2グループにわけ、片方のグループだけでも業務を行うことができるよう取り組んでいる。(刃物)
- ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて商品開発に力を入れ始めている。例えば抗菌製品は多くの同業他社でも取り組んでいる。(紙)

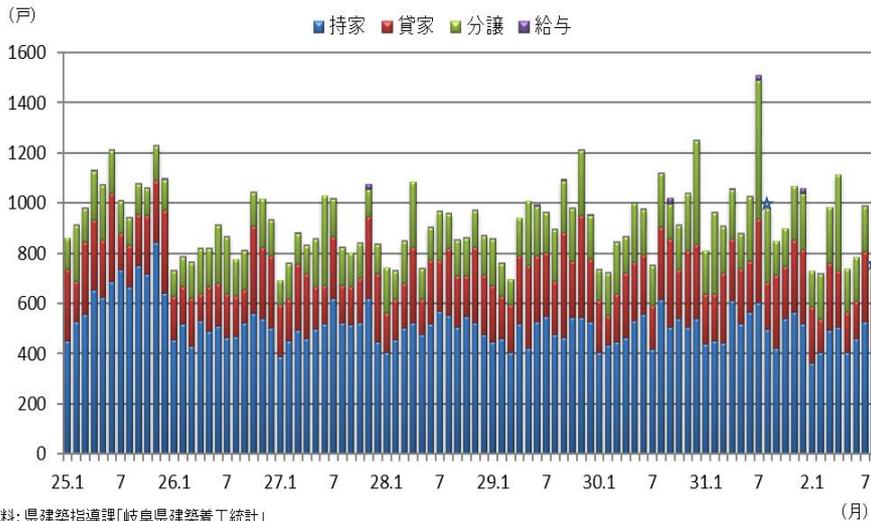
# 住宅・建築投資

○8月の住宅着工戸数は、前年同月比▲24.2%と前年同月を下回った。

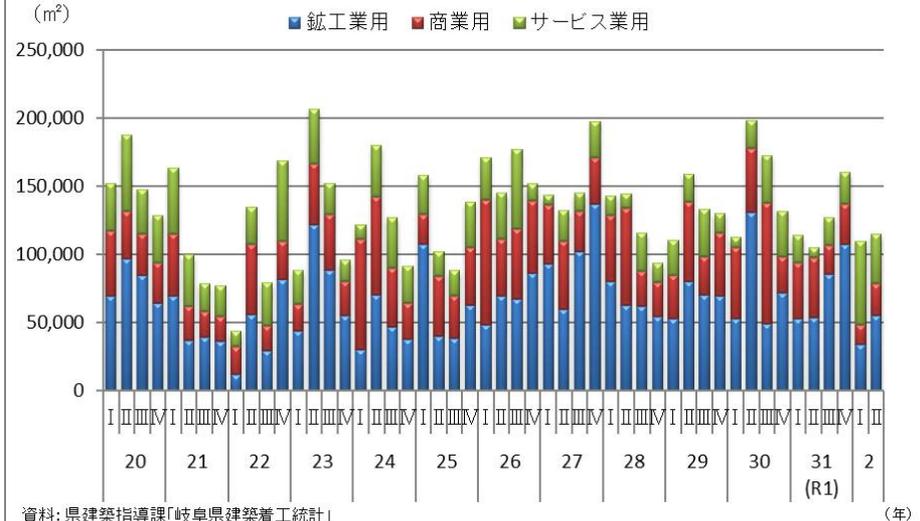
○貸家で前年同月比9.6%と増加したものの、分譲で同▲62.5%、持家で同▲14.3%と減少した。

○4-6月期の非居住用の建築着工床面積は、商業用で前年同期比▲46.5%と減少したものの、サービス業用で同373.3%、鉱工業用で同2.7%と増加したことから全体としては同9.1%と増加した。

新設住宅着工戸数の推移



県内建築着工床面積(非居住用・用途別抜粋)

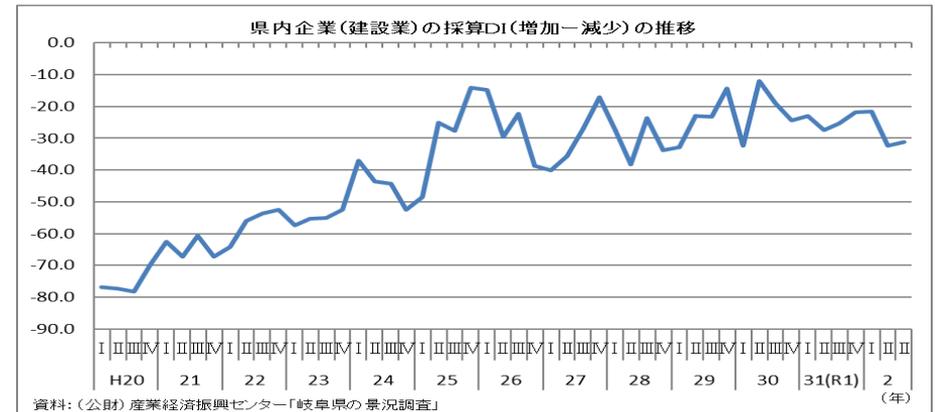
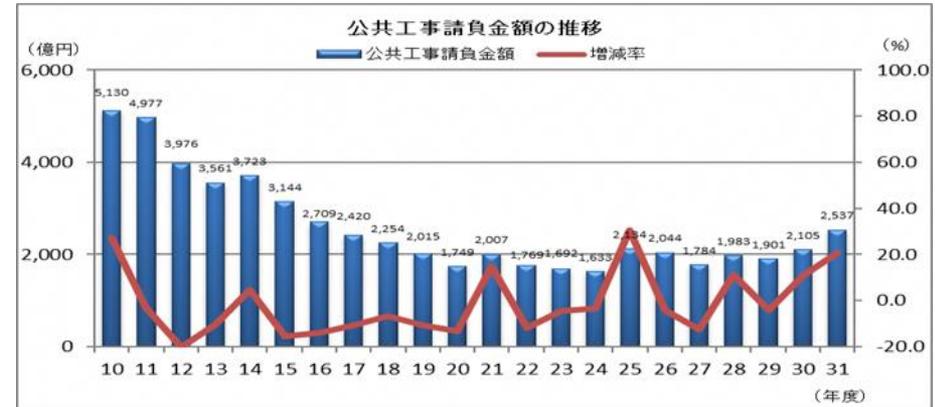
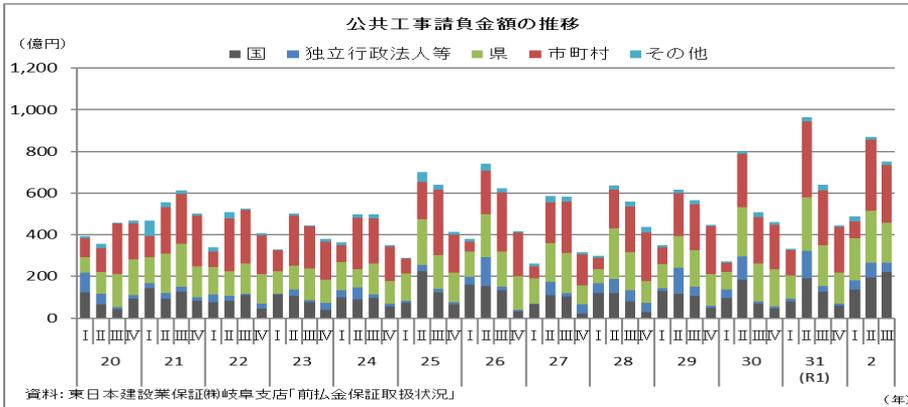


## 現場の動き

- ◆ 住宅展示場への来場者は堅調に推移している。4連休もあり9月の来場者数は前年同月の1.6倍となった。一方で、夏以降の契約件数は芳しくない。4月、5月に営業できなかった影響が現れている(住宅建築)
- ◆ 集材しづらい状況にある。隔週土曜日を休みにしてきたが、いよいよ雇用調整助成金を検討しなければならない状況になりつつある。(木材加工)
- ◆ 建築については、公共物件の発注が少ないものの10月くらいまで忙しい。原木が入ってこなくて困っている。(組合)
- ◆ 民間事業者の木材生産は順調な出材状況が続いていたが、新型コロナウイルスの影響により材価が急落しており、伐り控えが始まっている。(市場)

# 公共工事

- 7-9月期の発注者別の公共工事請負金額は、県で前年同期比▲3.4%と減少したものの、国で同75.1%、独立行政法人等で同64.5%と増加し、全体で同17.6%増加した。
- 県内建設業の7-9月期の受注量DIは前期比▲9.0ポイントと低下、同採算DI見通しは同1.1ポイントと上昇した。



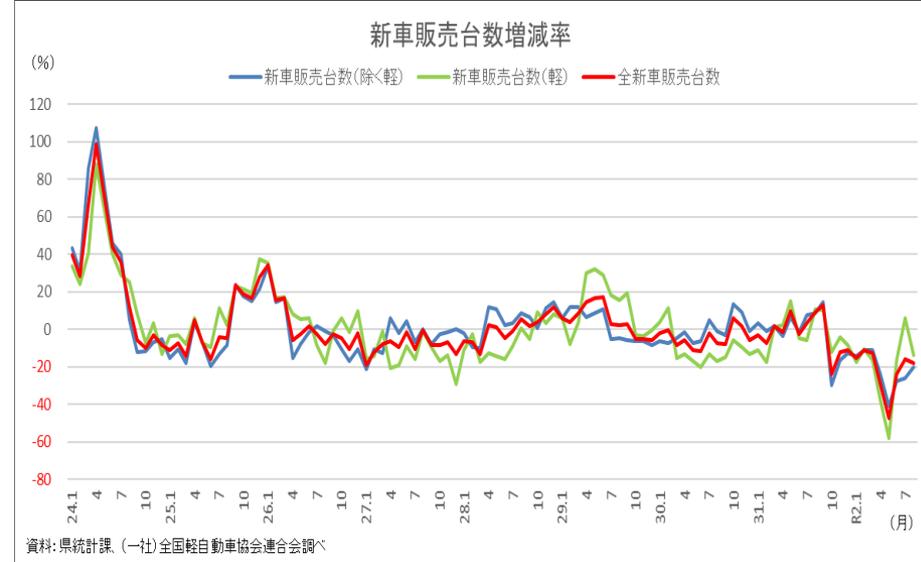
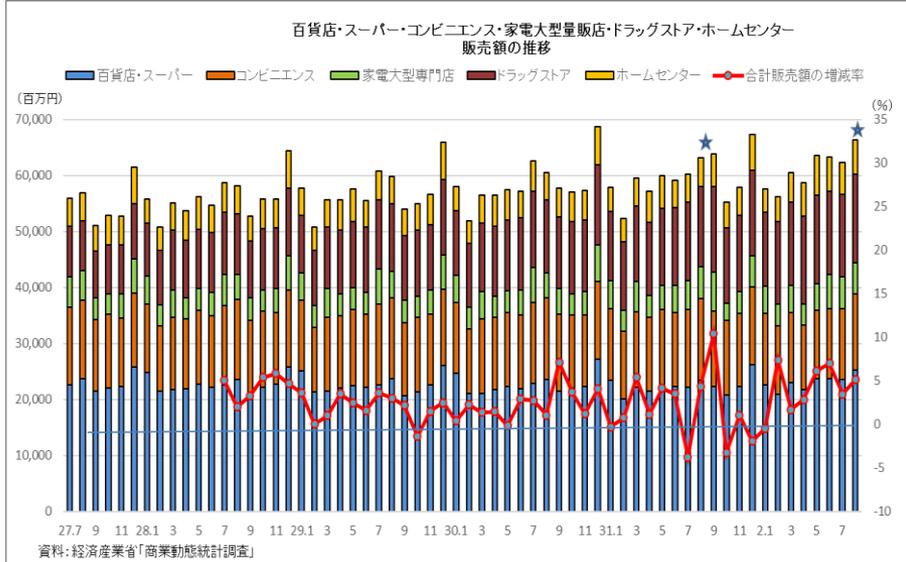
## 現場の動き

- ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で人材が地方に流れており、人材派遣会社からの売り込みが大幅に増えた。
- ◆ 受注に関しては、新型コロナウイルスの影響は受けていない。(以上、建設)

# 個人消費(流通・小売)

○8月はコンビニで前年同月比▲7.2%減少したものの、ホームセンターで同19.4%、ドラッグストアで同10.2%、百貨店・スーパーで同7.6%、家電大型専門店と同1.2%増加し、全体では同5.1%と増加した。

○8月の新車販売台数(除く軽)は、前年同月比▲20.3%と11ヶ月連続で減少し、軽自動車も同▲13.6%と減少に転じた。  
○合算では同▲17.9%と、11ヶ月連続で前年同月を下回った。



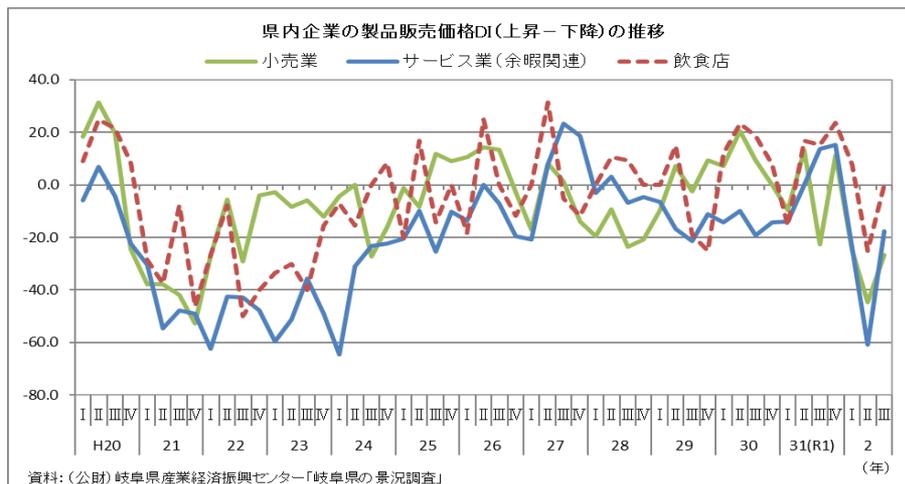
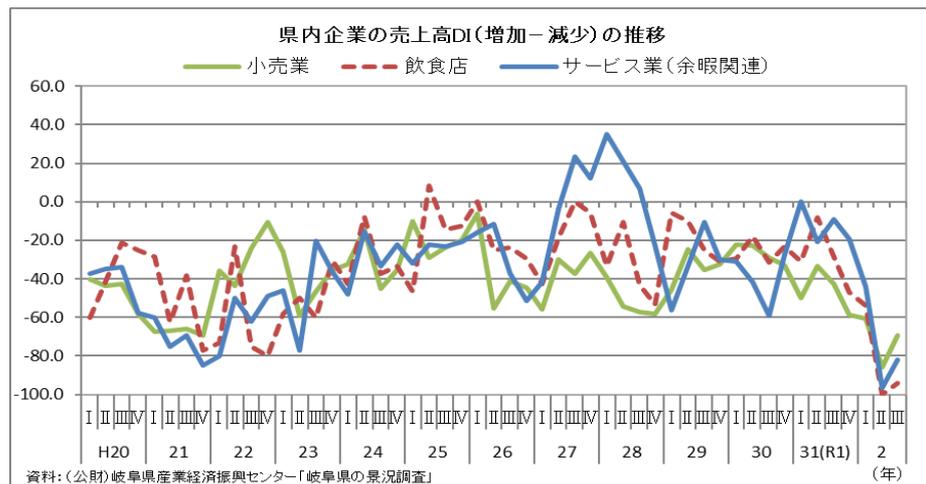
## 現場の動き

- ◆ SUVとコンパクトカーが堅調な伸びを見せた。(岐阜市内大型商業施設)
- ◆ 平日の客足は新型コロナウイルスの感染拡大前の水準に戻っているが、週末の客足が減ったまま。週末の混雑を避ける、(当店は郊外店舗なので)遠出を嫌うといった傾向がまだ続いているのではないか。(大垣市内大型商業施設)
- ◆ 例年9月は運動会等の屋外イベントに関する商品(食品・食品以外ともに)などが出るが、今年は全くといっていいほどない。消毒液・マスクなどは、店頭があれば売れる状態。(岐阜市内大型スーパー)
- ◆ 店舗とネット通販の合算では前年同月比で5%増加したが、日曜日が一日多かったためである。(岐阜市内大型スポーツ店)

## 個人消費(流通・小売)ー2

○7ー9月期の売上高DIは、小売業で前期比16.5ポイント、サービス(余暇関連)で同14.2ポイント、飲食店で同5.9ポイント上昇した。

○同じく販売価格DIは、サービス業(余暇関連)で前期比42.9ポイント、飲食店で同25.0ポイント、小売業で同18.0ポイント上昇した。



### 現場の動き

- ◆ 規模を縮小してイベントを実施している。また、引き続き消毒用アルコールを数か所設置し、県・市配布のステッカー貼り付けなどの安全対策をとりながら、各種イベントやバーゲンを開催している。
- ◆ 和菓子店では新店舗への移転の効果により前年同月比100%。飲食店は同▲24%となったが、時間短縮等によって人件費が減少したため、利益水準は維持した。ブティックは同▲20%。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で名古屋の卸問屋の廃業が多く、仕入れに影響が出ている。イベントが再開され、柳ヶ瀬の人出も徐々に戻りつつある。(以上、柳ヶ瀬商店街)
- ◆ 日用品・雑貨店の売上は前年同月比▲20%程。店頭では新型コロナウイルス対策用品のうち、非接触型体温計(企業向け)、使い捨て手袋などが売れた。和菓子店は同▲10%程。敬老の日の需要の減少が大きい。(大垣市商店街)
- ◆ 家電販売店の売上は前年同月比▲15%。カメラ・プリント店は、小売部門で同▲40%、撮影部門で同▲10%。雇用維持のため、雇用調整助成金を活用している。(高山市商店街)
- ◆ 酒類販売の売上は前年同月比▲10%。時計・宝石店は同▲30%。(多治見市商店街)

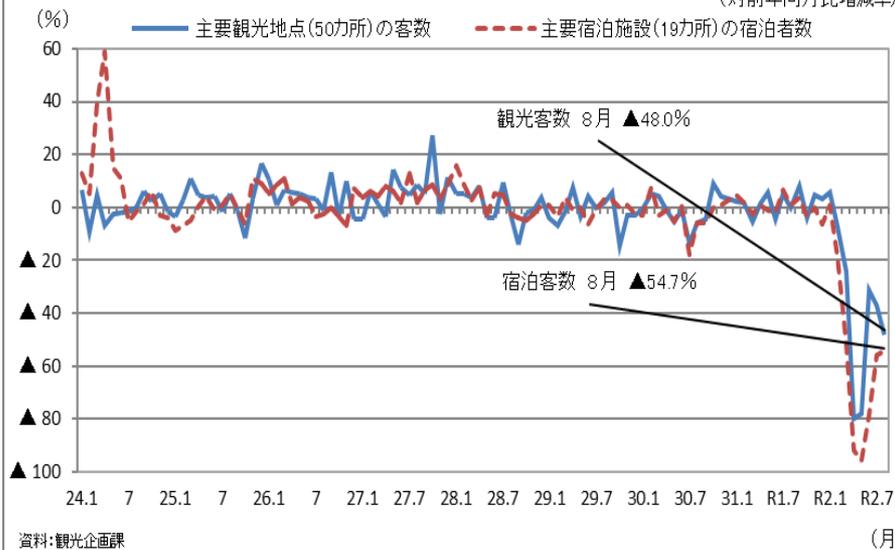
# 観光

○主要観光地における8月の観光客数は、前年同月比▲48.0%と減少し、7ヶ月連続で前年同月を下回った。主要宿泊施設における宿泊者数は、前年同期比▲54.7%と減少し、7ヶ月連続で前年同月を下回った。

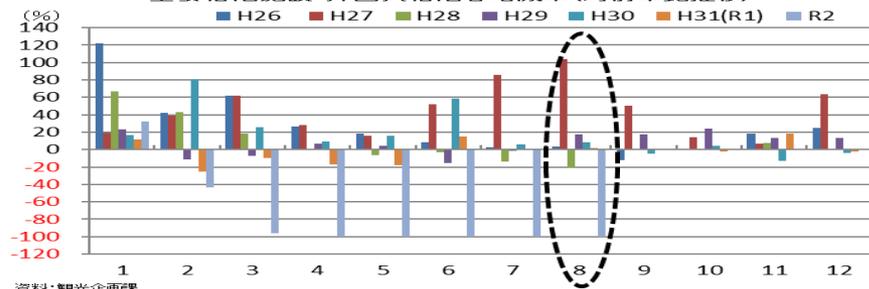
○8月の主要観光施設における外国人宿泊者数は、前年同月比▲100%減少と大幅に減少が続き、7ヶ月連続で前年同月を下回った。

主要観光地点の客数及び主要宿泊施設の宿泊者数の推移

(対前年同月比増減率)

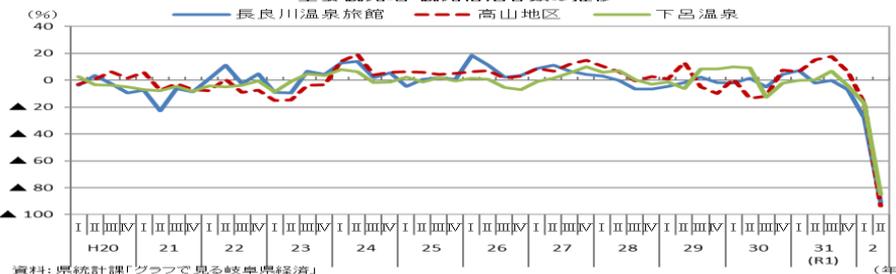


主要宿泊施設 外国人宿泊客増減率(対前年比推移)



主要観光地 観光宿泊客数の推移

(前年同期比増減率)

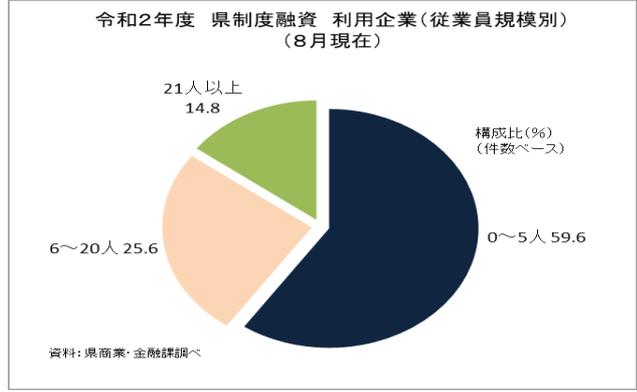
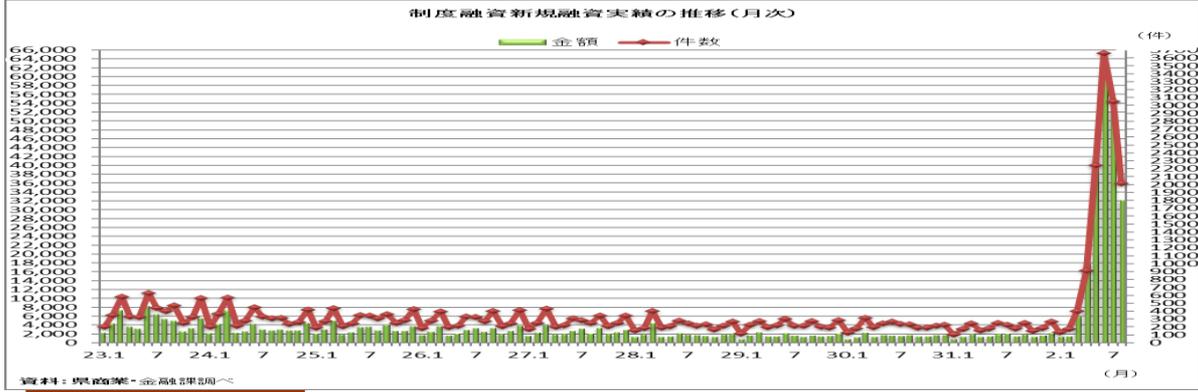
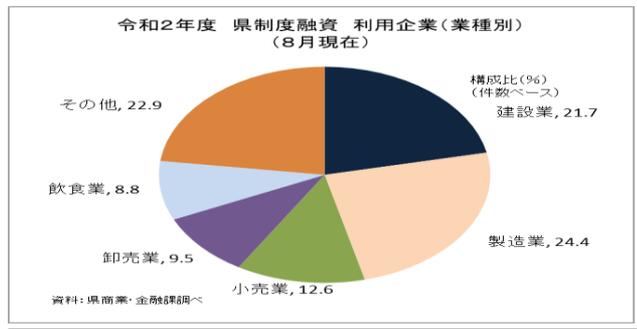
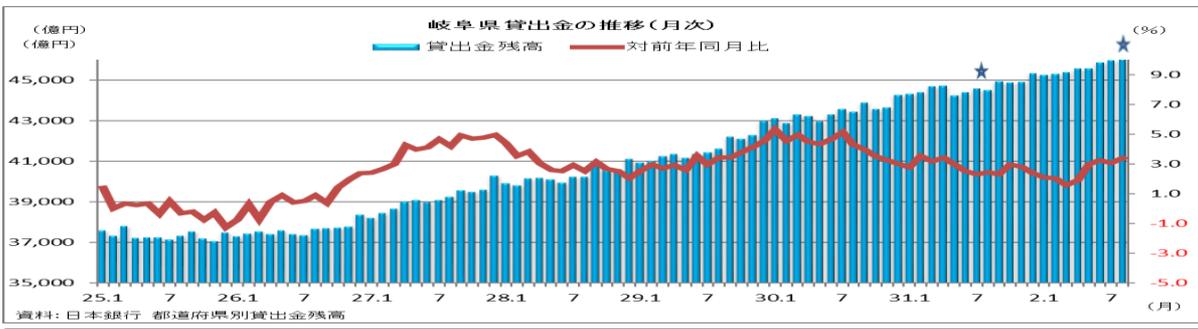


## 現場の動き

- ◆ 県の指針や業界団体のガイドライン等に沿って感染防止対策を徹底している。(岐阜市内、多治見市内、奥飛騨、下呂市内の宿泊施設)
- ◆ 大河ドラマ特別展やGoToトラベルの東京追加により予約は増加傾向にある。(岐阜市内の宿泊施設)
- ◆ GoToトラベルについては、ネット予約が全体の約65%を占めている。(多治見市内の宿泊施設)
- ◆ 国内の個人宿泊客を誘客するため、価格やプランを見直している。(奥飛騨の宿泊施設)
- ◆ 新型コロナウイルスの感染拡大前以上に週末に宿泊が集中しているが、平日はなかなか回復しない。(下呂市内の宿泊施設)(岐阜市内の宿泊施設)

# 資金繰り

○8月の岐阜県貸出金残高は、4兆6,034億円と前年同月比3.4%とプラス基調が続く。  
 ○8月の制度融資実績は、金額が32,120百万円で前年同月比2,167.1%と大幅に増加した。件数は2,013件で同1,018.3%と大幅に増加した。  
 ○従業員規模別は、5人以下の事業所が全体の59.6%を占めている。

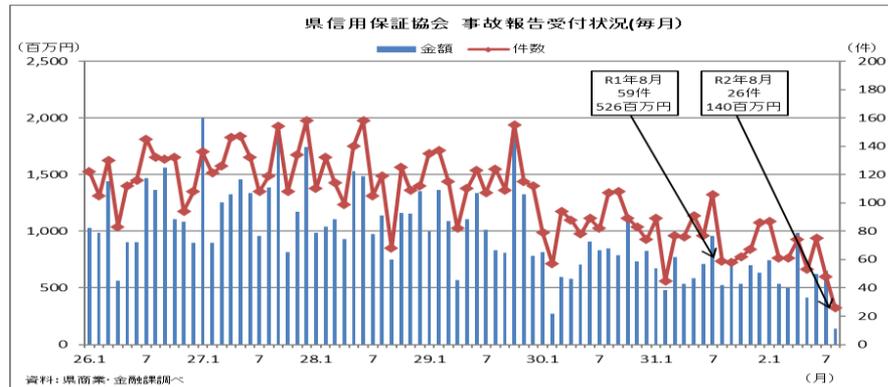
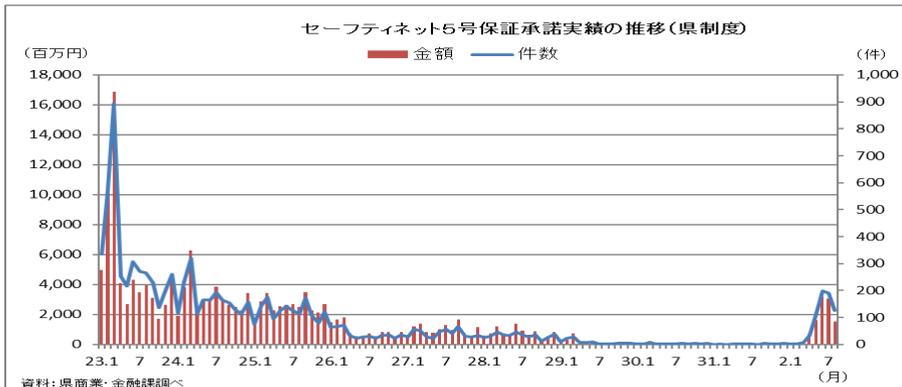
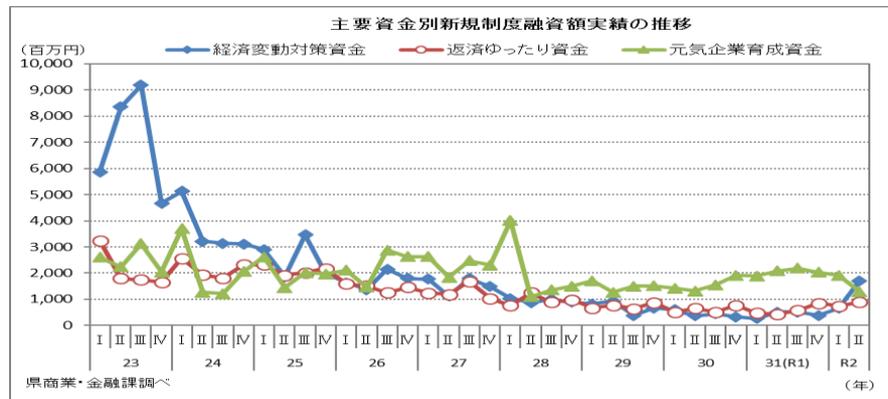
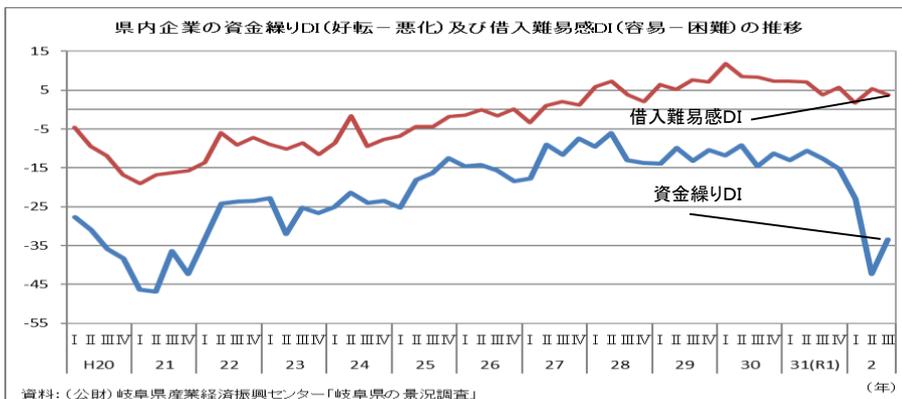


## 現場の動き

- ◆ 融資は、8月から落ち着いてきたが、9月はさらに落ち着いている。コロナの無利子融資の申込件数が減っていることから、新規融資へのニーズが減少しており、資金調達が一巡した印象。企業の業況はどの業種においてもある程度底を脱し、落ち着いているように思われる。特に飲食業や観光業では8月上旬に第二波の影響を受けていたが、2番底も脱した様子。
- ◆ 医療機関(特に個人開業医)、介護事業者は受診控えが続いており、厳しい状況である。
- ◆ 先月に引き続き、融資の9割以上が運転資金。(以上、金融)

# 資金繰り-2

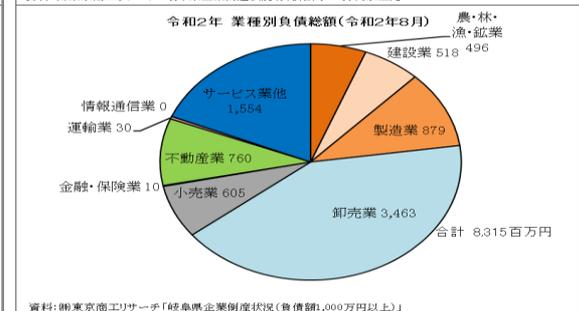
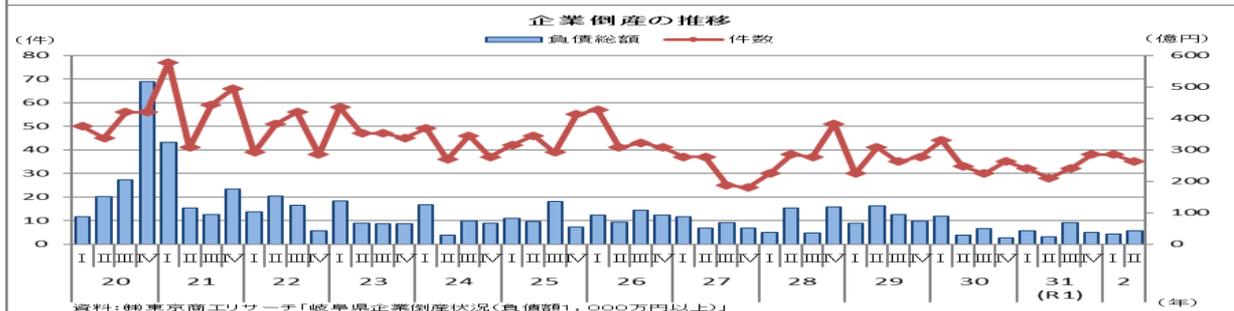
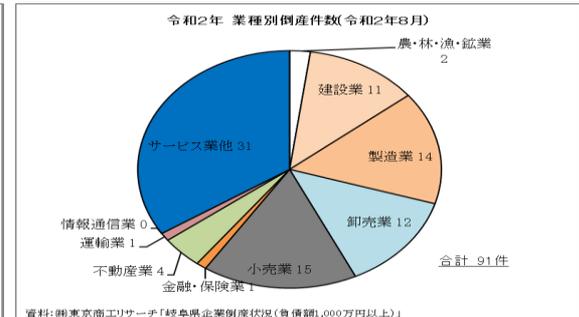
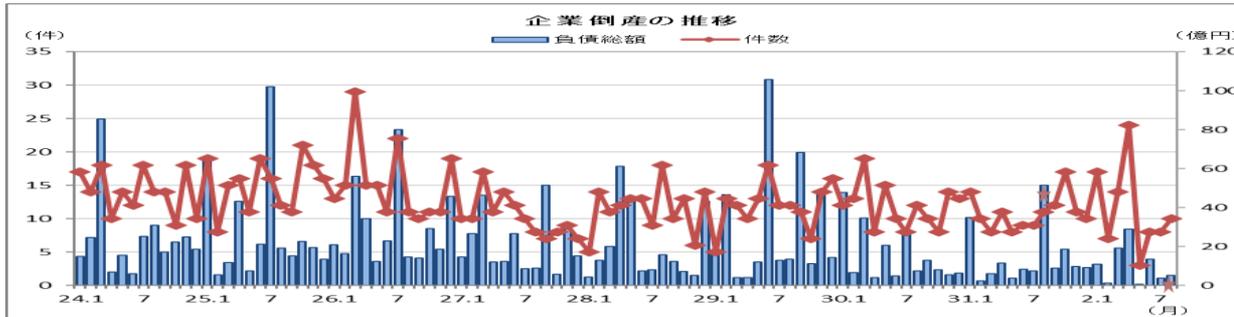
- 7-9月期の資金繰りDIは▲33.5で、前期比8.9ポイント改善した。同借入難易感DIは3.8で、同1.6ポイント悪化した。
- 4-6月期の主要資金別新規制度融資実績は、経済変動対策資金で前年同期比232.7%と5期連続で増加、返済ゆったり資金で同102.2%と4期連続で増加、元気企業育成資金で同▲38.1%と9期ぶりに減少となった。
- 8月のセーフティーネット5号保証承諾実績は、件数が127件で前年同月比127件増加、金額は1,531百万円で同1,531百万円増加した。
- 8月の事故報告(保証協会付融資3ヶ月以上延滞)状況は、件数は26件で前年同月比▲55.9%と減少し、金額も140百万円で同▲73.3%と減少した。



# 倒産

○8月単月の倒産件数は前月比2件増加の10件、負債総額は前月比142百万円増加の507百万円となった。

○1月から8月までの累計倒産件数は91件となり、前年同期の80件から11件増加。累計負債総額は8,315百万円となり、前年同期の12,581百万円から4,266百万円減少で推移した。



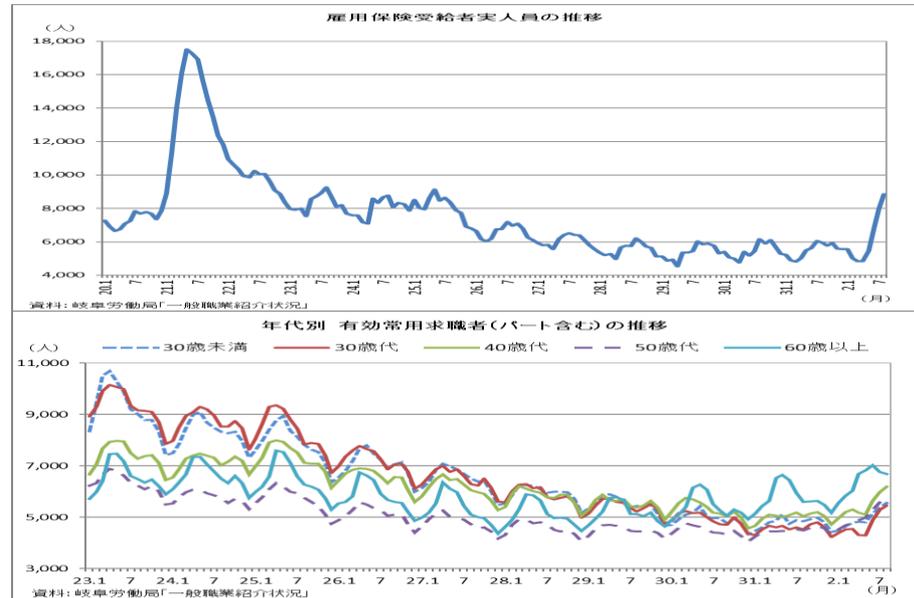
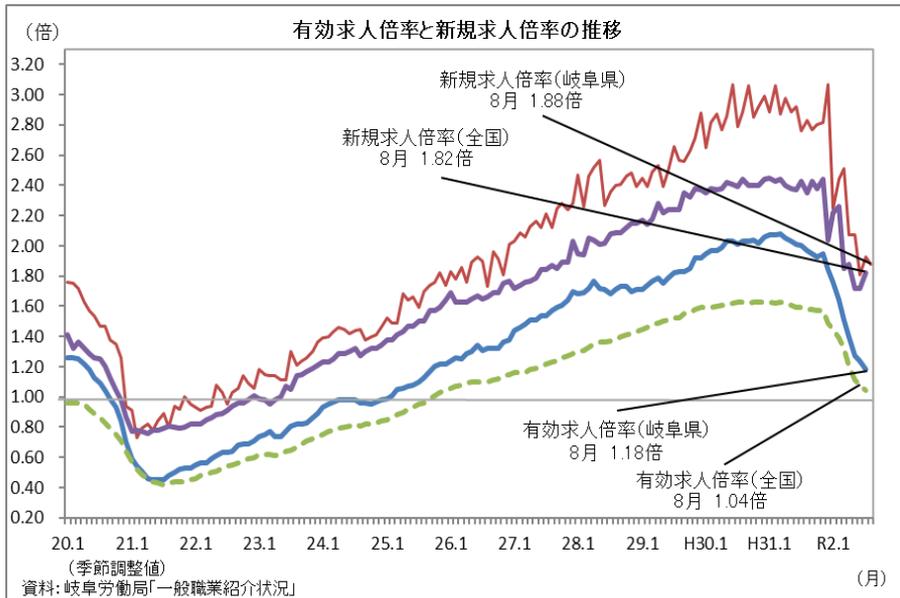
## 専門機関の分析(東京商工リサーチ)

- ◆緊急融資などによる資金供給や金融機関・取引先のリスク対応などの支援効果で「新型コロナウイルス」関連破綻の大幅な増加は避けられている。一方で、9月1日には全国で唯一発生していなかった高知県でもはじめて発生し、「新型コロナウイルス」関連破綻は全都道府県に広がった。各種の支援に依存しながらの経営が続く企業は多く、感染の収束状況にもよるが、体力の乏しい企業の脱落は避けられず、引き続き予断を許さない状況が続いている。
- ◆各種制度融資や持続化給付金、借入金の返済猶予等で倒産件数は抑制されている状況にあるが、コロナ禍の影響で厳しい状況が長引くほど、経済の回復への道のりは陰しくなり、中小・零細企業を中心に再び倒産件数が増加に向かう可能性は十分にある。

# 雇用

- 8月の有効求人倍率は1.18倍と、前月比▲0.06ポイントと8ヶ月連続で低下。
- 8月の新規求人倍率は1.88倍と前月比▲0.05ポイントと低下。

- 8月の雇用保険受給者人員は、前月比48.7%と増加した。
- 年代別有効常用求職者は、全ての年代で前年同月比増加した。



## 現場の動き

- ◆全体的に仕事が落ち着いていることもあり、積極的な求人は行なっていない。(食品製造)
- ◆人手は過剰となっている。派遣社員の契約更新の停止や中途採用の採用予定数の削減により調整する方針。(輸送用機械)
- ◆若干不足気味ではあるものの、新たに派遣社員を採用する予定はない。特定技能などの外国人の受け入れを待つ。(輸送用機械)
- ◆新型コロナウイルスの感染拡大とは無関係に、ここ数年恒常的に人材不足が続いている。(産業用機械)
- ◆新たに雇用ができる状態ではない。人手は余っている。(繊維)

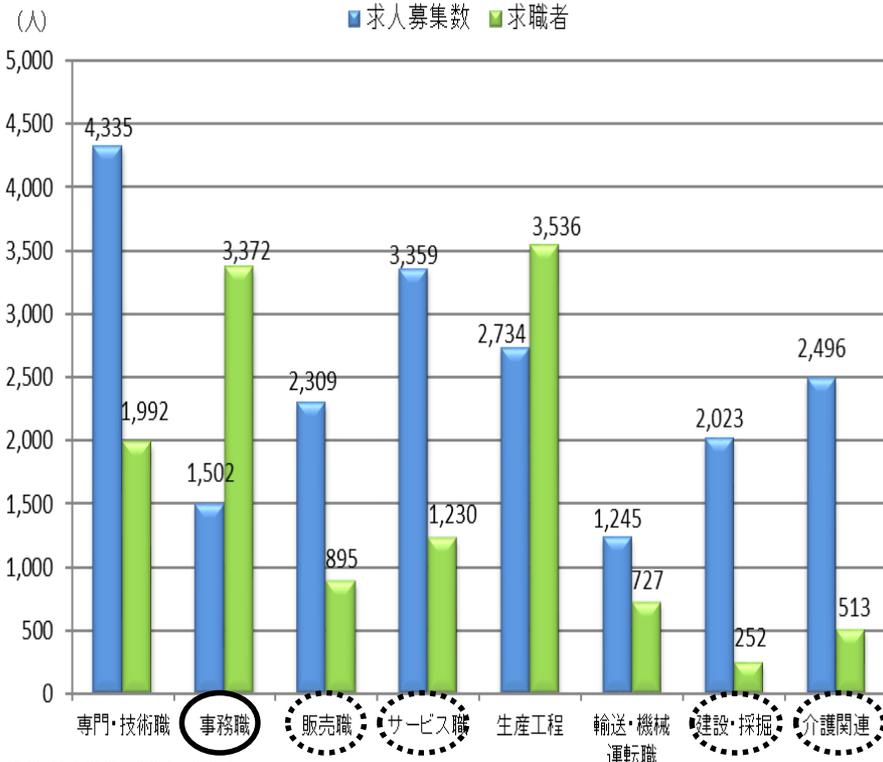
# 雇用(職業別)

○有効求人倍率は、建設・採掘で8.03倍、介護関連で4.87倍、サービス職で2.73倍、販売職で2.58倍など、引き続き人手不足の状況は続いている。

○一方で、事務職の有効求人倍率は0.45倍に留まり、求職者のニーズと、求人側のニーズのミスマッチが続いている。

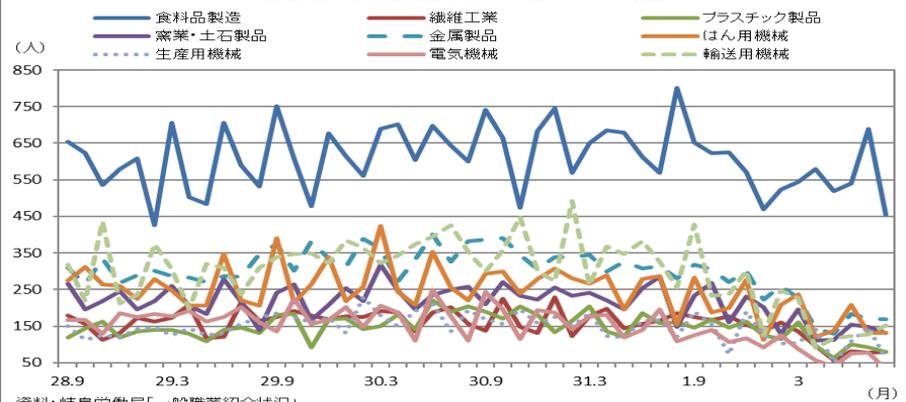
○8月の主要産業新規求人数は、電気機械で前年同月比▲71.6%、繊維工業で同▲56.8%、プラスチック製品で同▲50.3%、生産用機械で同▲50.0%、食料品製造で同▲43.1%、輸送用機械で同▲40.6%、金属製品で同▲40.2%、はん用機械で同▲14.9%、などと主要産業の全てで減少した。

8月 職業別有効求人募集数・有効求職者数(常用的フルタイム)



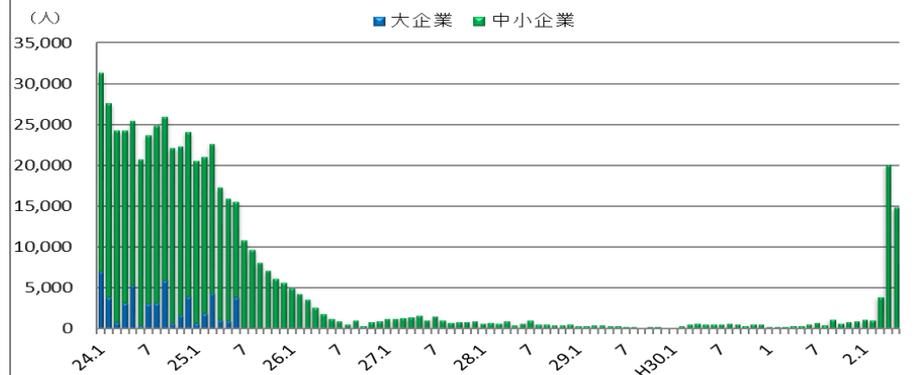
資料: 岐阜労働局「求人・求職」バランスシート

主要産業別 新規求人数(一般+パート)推移



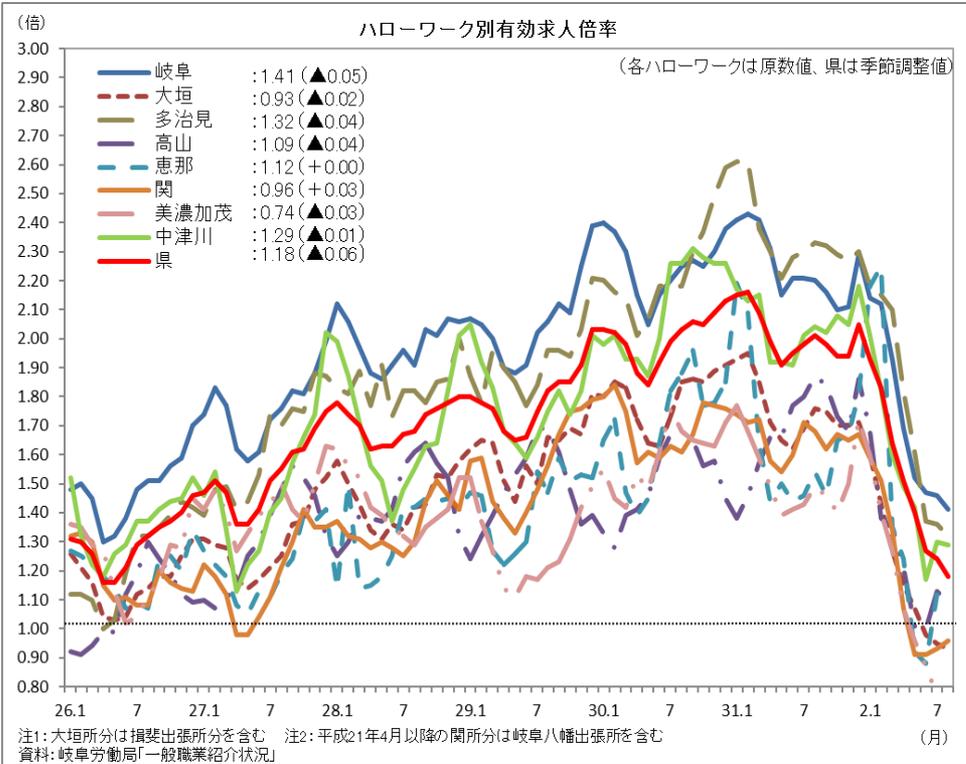
資料: 岐阜労働局「一般職業紹介状況」

雇用調整助成金の申請状況



資料: 厚生労働省「雇用調整助成金等に関する「休業等実施計画届」受理状況」

# 雇用(地域別)



○8月のハローワーク別有効求人倍率は、大垣、関、美濃加茂で1倍未満で推移している。前月比では、恵那と関を除く、全ての地域で低下した。

## 現場の動き(前月比)

### <ハローワーク岐阜>

- ◆求人者数は減少、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク大垣>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク多治見>

- ◆求人者数はやや減少、求職者数は減少。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

### <ハローワーク高山>

- ◆求人者数、求職者数はともに増加。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク恵那>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は横ばい。

### <ハローワーク関>

- ◆求人者数、求職者数は増加。
- ◆雇用保険受給者数は増加。

### <ハローワーク美濃加茂>

- ◆求人者数は増加、求職者数はやや増加。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <ハローワーク中津川>

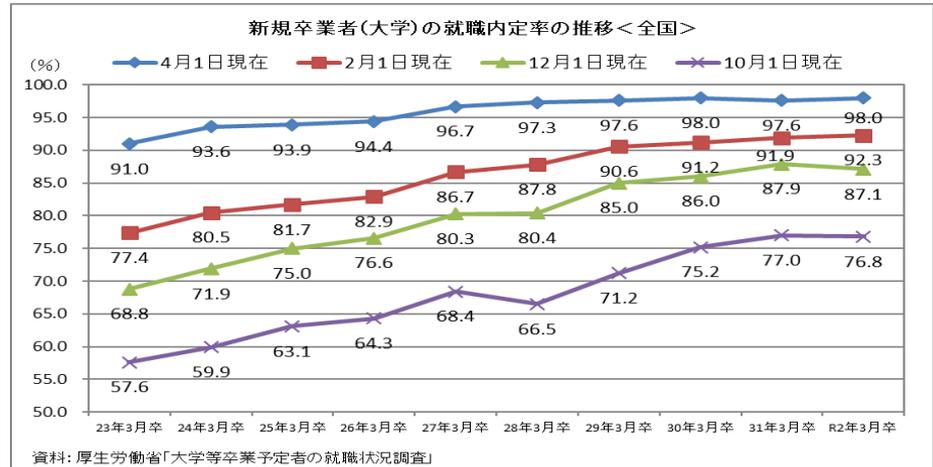
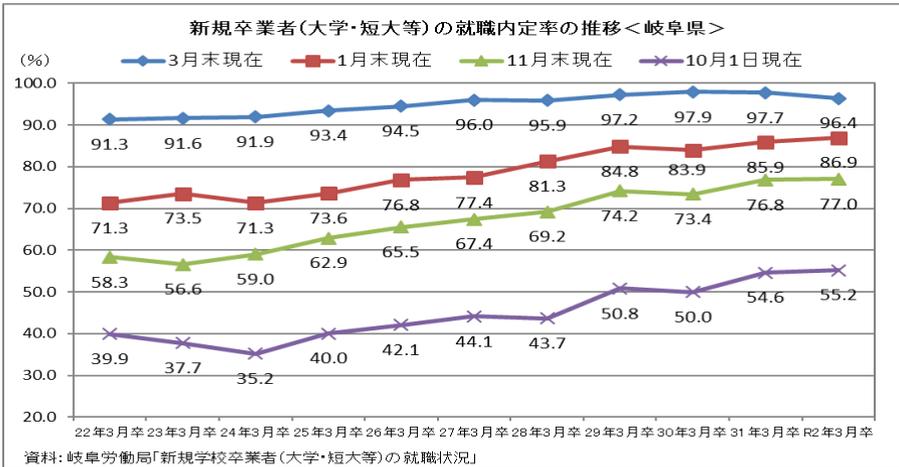
- ◆求人者数は増加、求職者数はやや減少。
- ◆雇用保険受給者数は減少。

### <窓口の様子> ※前月比

- ◆大垣と多治見を除き、混雑傾向がみられた。

# 雇用(大学・短大新卒者の就職)

- 岐阜県の令和2年3月末時点の大学・短大卒業者(令和2年3月卒業)の就職内定率は、96.4%であり、前年同時点と比べ▲1.3ポイント低下した。
- 全国の令和2年4月1日現在の大学・短大卒業者(令和2年3月卒業)内定率は98.0%であり、前年同時点と比べ0.4ポイント上昇した。



## 現場の動き(2021卒の動きなど)

### <大学へのヒアリング>

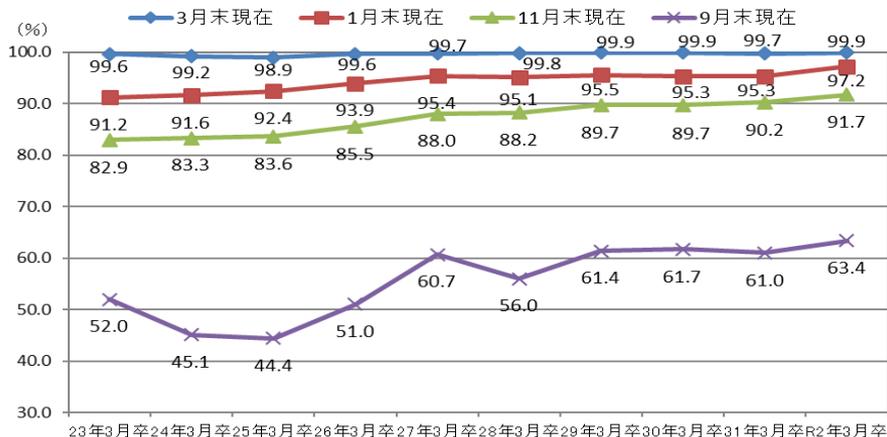
- ◆ 学生からの相談はかなり落ち着いてきた。21卒からの相談では公務員試験受験から民間就活への切り替えに関する内容が多い。
- ◆ 21卒の内々定については現状で73%と、昨年同時期に比べると1割ほど下がっている。21卒を対象としたこの時期の企業求人が減っている。
- ◆ 21卒の内々定の状況は6~7割で、昨年より1割ほど低い。企業からの求人が減っており、学生が希望する求人案内できないこともある。
- ◆ 22卒対象の第1回ガイダンスを10月上旬で実施予定。(以上、岐阜県内大学)
- ◆ 学生からの相談が少ない。
- ◆ 10月から22卒向けのガイダンスをオンラインで実施しているが、集まりが良くない。(以上、愛知県内大学)

# 雇用(高校新卒者の就職)

○岐阜県の令和2年3月末時点の高校卒業者(令和2年3月卒業)就職内定率は99.9%であり、前年同時点と比べ0.2ポイント上昇した。

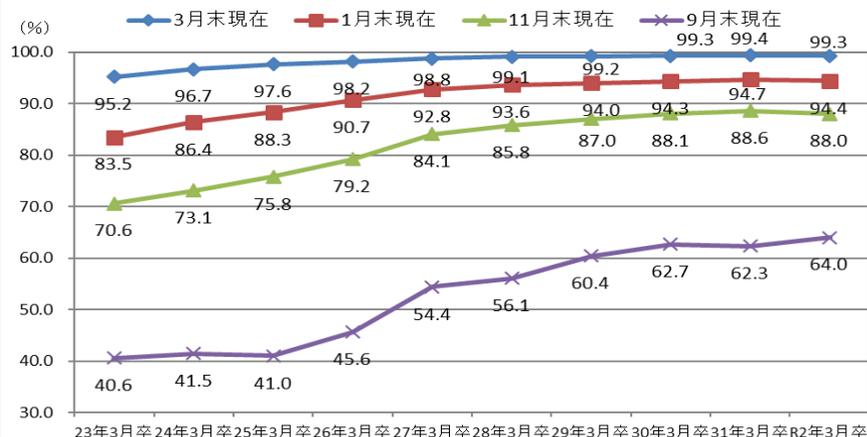
○全国の令和2年3月末時点の高校卒業者(令和2年3月卒業)就職内定率は99.3%であり、前年同時点と比べ▲0.1ポイントと低下した。

新規卒業者(高校)の就職内定率の推移<岐阜県>



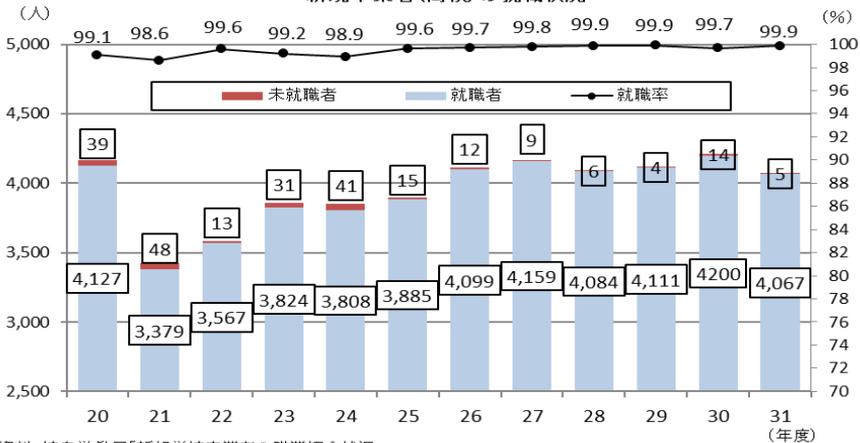
資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

新規卒業者(高校)の就職内定率の推移<全国>



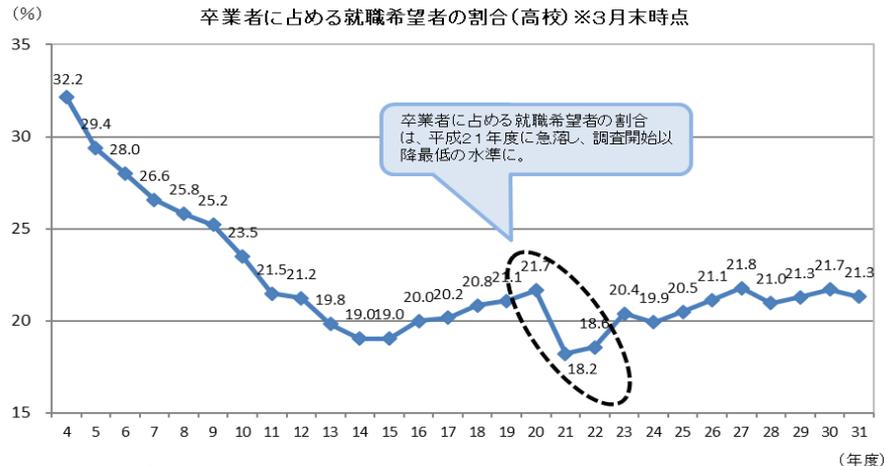
資料: 厚生労働省「高校・中学新卒者の求人・求職・内定状況(高校・中学新卒者)」

新規卒業者(高校)の就職状況



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

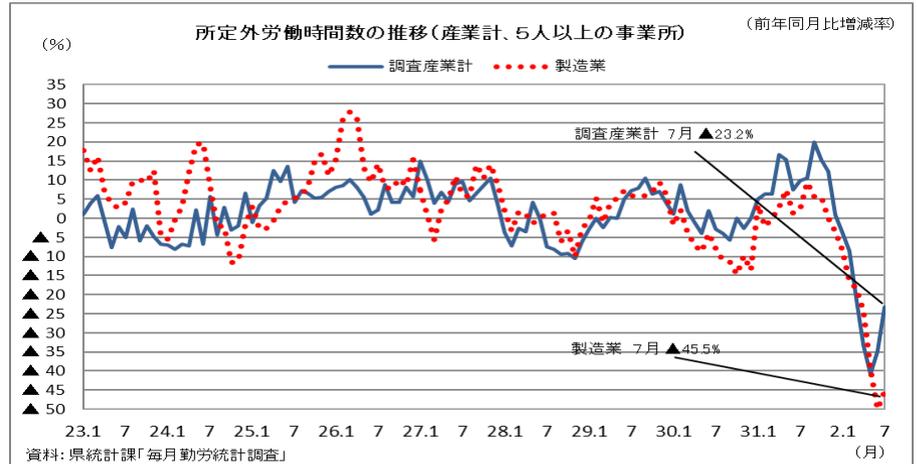
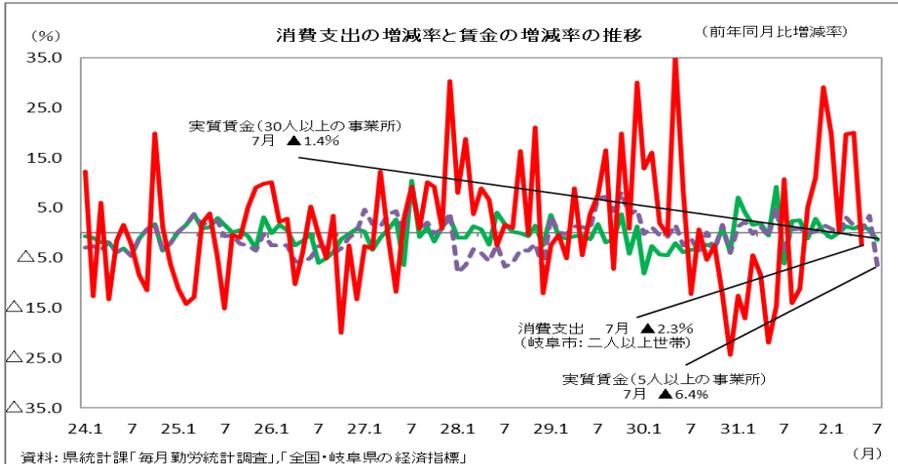
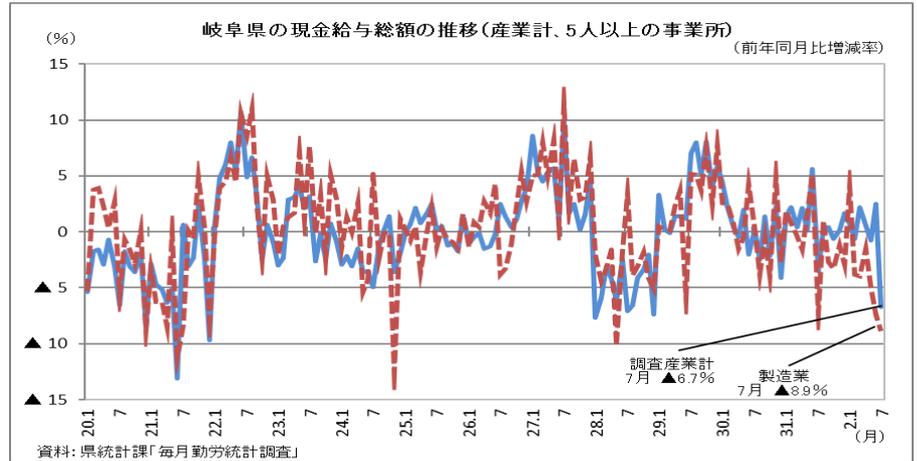
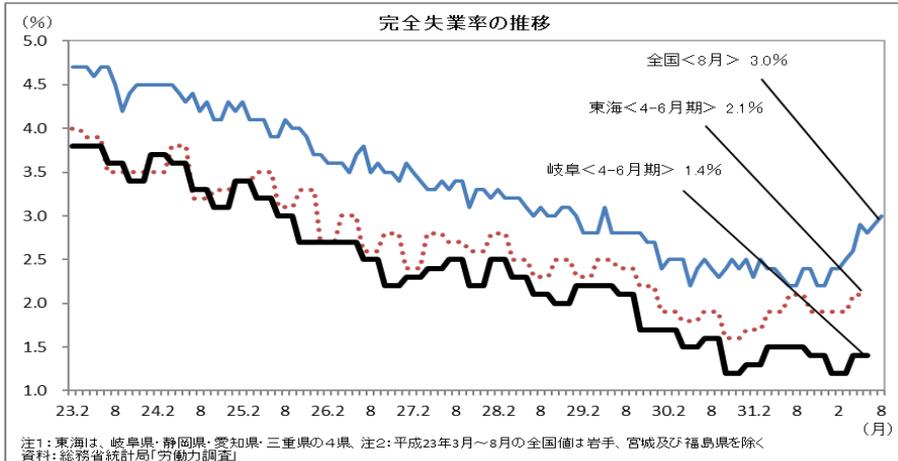
卒業者に占める就職希望者の割合(高校)※3月末時点



資料: 岐阜労働局「新規学校卒業者の職業紹介状況」

# 雇 用(完全失業率等)

- 全国の8月の完全失業率は3.0%で前月比0.1ポイント悪化。岐阜県の4-6月期の平均は1.4%で前期比0.2ポイント悪化。
- 7月の現金給与総額は、調査産業計で前年同月比▲6.7%、製造業では同▲8.9%と減少。
- 7月の実質賃金増減率は、5人以上の事業所は前年同月比▲6.4%、30人以上の事業所は同1.4%減少。7月の消費支出については同▲2.3%と8ヶ月ぶりに減少した。
- 7月の所定外労働時間数は前年同月比▲23.2%と7ヶ月連続で減少した。



# ＜経済・雇用の現状（総括）＞

- 製造業は、7月の鉱工業生産指数では、化学工業を除く主な産業の全てで上昇した。ヒアリングにおいては、4月から6月の大幅落ち込みから完全に挽回体制にある、などとの声もあり、回復基調にある様子が窺える。
- 地場産業は、7月の鉱工業生産指数では、家具、窯業・土石、木材・木工を除いて低下した。ヒアリングにおいては、8月～9月は春～夏と比較して、さらに深刻な状態になっている、との声が聞かれるなど、依然として景気の底を脱していないとの声が目立った。
- 設備投資は、8月の金属工作機械受注額について、前年同月を下回った。前年同月を下回ったのは、国内向けは21ヶ月連続、海外向けは22ヶ月連続となった。ヒアリングにおいては、今後の設備投資は未定であるとの声のほか、国の補助金を活用してIT関連の設備投資を進めたとの声もあった。
- 個人消費は、小売店の8月の販売額について、コンビニでは落ち込みが続いたが、ホームセンターや家電大型専門店等の販売が増加し、全体では前年同月比で7ヶ月連続の増加となった。ヒアリングにおいては、各種感染防止対策を施しながら集客イベントの実施を図る動きが見られた。
- 観光は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、観光地、宿泊施設ともに前年同月を下回った。特に平日は週末に比べて回復が鈍い傾向が見られる。GoToトラベル等の効果もあり予約は増加傾向にある、との声もあった。
- 企業の資金繰りは、8月の制度融資実績で、前月に続き、件数、金額ともに前年同月比で大きく増加した。金融機関からは、企業の資金調達は一巡し借入の申し込みは減少した、という声が多く聞かれた。
- 雇用面は、8月の有効求人倍率は、1.18倍と8か月連続で低下した。ヒアリングにおいては、人手が余っており新たな雇用をする状況ではないとの声があったほか、人手不足であっても新たな雇用には慎重になっている企業の動きも見られた。